

令和元年度 家庭教育支援プログラム指導者研修⑤ 実施報告

実施日：令和元年8月7日（水）

5月29日から始まった「家庭教育支援プログラム指導者研修」が、全5回の日程を終了しました。最終回は、これまでの研修の学びを生かしながら、ファシリテーターとして実際にプログラムを展開しました。

○ 演習「親学習プログラムファシリテーター演習に向けて」

親学習プログラムのファシリテーターは、学びの場において参加者が活動しやすくなるよう支援するとともに、進行の舵取りをする役割を担います。更には、参加者の気持ちや言葉を引き出したり、受け止めたりしながら話し合いを進めていくことも求められます。

この後の親学習プログラムのファシリテーションに向けて、各班ともプログラムの確認や修正、展開の練習に取り組みました。



○ 演習「親学習プログラムファシリテーター演習」

設定時間に納めながらもプログラムのねらいを達成させるために、各班とも役割分担しながらプログラムを展開しました。メインファシリテーターとしての言葉かけ、サポート役としてのプログラムへの関わり方、グループ協議中の参加者との距離感など、各班ともこれまでの研修の学びを存分に発揮してくれました。

プログラム実施後は、ファシリテーター班は自分たちの進行についてふりかえりを行い、参加者班はファシリテーター班の良かった点を発表し合いました。



☆受講者の声（アンケートから）

- ・互いの考えを尊重し、協力し合って発表を終えることができました。
- ・仲間と協力する楽しさや頑張った満足感等、良い経験となりました。
- ・実際に自分がファシリテーターとなり、プログラムを進めていくという体験をしたことが自信となりました。
- ・いろいろな研修がありましたが、どれも有意義でした。ここでネットワークもできたので、今後に生かしていきたいと思います。
- ・地域の就学時健康診断のときに生かせたらと思います。
- ・学校で実施する親学習プログラムで活用していきたいと思います。



【閉講式】

受講者の皆さん、お疲れ様でした！

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで

TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp